

最近のインド株式市場の動向と今後の見通し

2015年5月1日

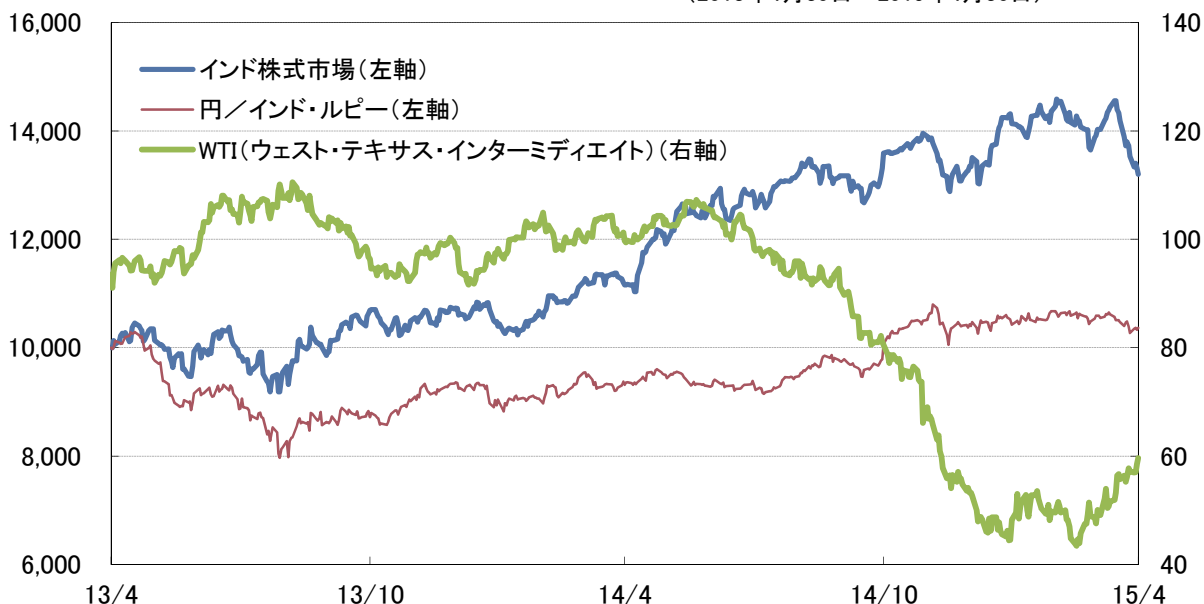
<市場動向～モディ政権への期待をいったん織り込み>

インド株式市場は、2014年5月の総選挙を前にモディ政権発足への期待から上昇局面に入りました。総選挙後も、モディ新首相が期待通りに成長重視の経済政策を打ち出したこと、原油価格の低下による貿易収支の改善とインフレ沈静化、それを受けたRBI(インド準備銀行)による緩和的な金融政策への期待などにより2014年末までは上昇を継続しました。

しかし、2015年に入るとインド株式市場は横ばい状態になり、4月の後半からは軟調な展開となっています。この背景には、①モディ政権のポジティブ要因を株式市場がいったん織り込み、急激な上昇に対する警戒感が台頭したこと、②これまで好材料となっていた原油価格が下げ止まり、少雨による農産物価格の上昇懸念とあわせてインフレ警戒へとつながったこと、などの要因がありました。

インドの株式市場・為替と原油価格の推移

(2013年4月30日～2015年4月30日) (米ドル/バレル)



※インド株式市場はMSCIインド・インデックスを2013年4月30日を10,000として大和投資信託が指数化したもの。
 ※円/インド・ルピーはブルームバーグが提供する為替レートを2013年4月30日を10,000として大和投資信託が指数化したもの。
 ※MSCIインド・インデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

(出所)ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

<見通し～本格的な経済成長局面は始まったばかり>

いくつかの短期的な悪材料により調整しているインド株式市場ですが、経済ファンダメンタルズに大きな変化があったわけではありません。

2015年4月に発表された世界銀行の予測によるとインドのGDP(国内総生産)は2015年度以降、当面は主要国の中で最高の成長率が続く見込みです。モディ政権は成長率をさらに押し上げるためにインフラ(社会基盤)投資を促進する様々な政策を実施すると約束しています。また、豊富な若年人口が労働市場に参加する時期を迎えており、労働人口の増加が経済成長にプラスに働いてくると考えます。

財政収支と経常収支の赤字もコントロール可能な水準にあり、金融政策に対する信頼感も高いことから為替レートは安定しています。

よって、短期的には様々な悪材料から影響を受けたとしても、中期的には経済成長に歩調をあわせる形で株式市場も上昇基調に回帰するものと予想しています。

以 上